

平成 26 年度原子力防災学習実施資料

1. 実施期間： 平成 26 年 7 月 25 日～ 平成 27 年 3 月 28 日
2. 自治会数： 206 自治会
3. 受講者数： 4, 316 人
4. 主な質問・意見等：

質問・意見	回答内容
安定ヨウ素剤の使用期限は何年か？備蓄していても期限が切れれば意味がない。	安定ヨウ素剤の使用期限は3年です。期限が切れる前に買い替えます。
内部被ばくを防ぐのにマスクは有効か。	内部被ばくを防ぐには、放射性物質を体内に取り込まないようにすることが必要です。通常のインフルエンザ対策に使用するのと同じで、マスク（不織布など）を着用し、肌を露出しないようにして避難してください。 建物に入る前には、体についたチリ、ホコリをよく払ってから入ってください。
安定ヨウ素剤は個人で持つべきでないか。夜間などの場合配るのに時間がかかると思う。	現在は、緊急時には職員が各自治会へ持って行き、自治会の協力を得て配ることにしています。平成27年度に希望される方に対し事前配布を実施することを検討しており、個人で所有していただけます。 個人での購入は、医師の処方箋等が必要になるので、医療機関にお問合せください。
子供に影響するならば学校等に備蓄すべきでないか。	教育委員会でも教員に対し原子力事故災害に備えた研修を実施されます。学校での備蓄は検討課題となっています。
飲むタイミングの指示がしっかり伝達されるのか。	事故の状況や服用のタイミングは、防災行政無線や携帯電話のメール（デカンショ防災ネット）、広報車等でお伝えします。
実際事故が起きた場合、住民がそんなに冷静に指示を待たされるのか。	慌てないように学習し、正しい知識を持って行動していただくために学習会を開催しています。事故発生時には正確な情報提供に努めます。
全てのことを決めてから住民に話をしないと混乱を招くのではないか。	原子力発電所事故対策について検討を進めていますが、発電所が停止していても、燃料プールに核燃料がある限り事故の可能性はあります。事故はいつ起こるかかわからないので、事故が発生したら篠山市に影響がある可能性があることを早くお知らせするため、このような学習会を開催しています。すべてのことを決めるにはかなりの時間が必要であると思われます。
原子力の講習会は来年度以降あるのか。継続してやってほしい。	広報誌による啓発や、パンフレットの作成などを検討します。
避難の仕方が分からない。「ここに行ってください」という場所は無いのか。	今のところ、避難先について市で指定した場所はありません。検討中です。災害時相互応援協定を締結している自治体などを含め検討します。
事故発生時にどの経路（方向）でどこへ避難したらよいのか？	避難は事故時の気象状況により、放射性物質が飛散する方向が異なります。国や県からの情報をお知らせさせていただきます。 避難方法や場所については今後検討しますが、市全体でバス等を手配することは困難であると考えますので、各個人で遠方のご親戚や知人宅への避難をお願いします。
事故発生時に篠山市まで放射性物質がどのくらいの時間で到達するのか参考データがあれば教えてほしい。	シミュレーションは兵庫県が実施したものであり、兵庫県は到達の時間データを公表しておりません。
避難の際に車に乗れない方はどうやって避難すればよいのか。	遠方へ避難することが困難な場合は、外出を避け「屋内退避」をすることが有効となります。自宅等の建物の中で、外気を屋内に取り入れれないように換気扇、エアコン等を使用せずに過ごしていただくことで被ばくを防ぐことが出来ます。
市内には、別荘を所有している方がいるが、その方々にはどのように対応するのか。安定ヨウ素剤の配布はあるのか。	安定ヨウ素剤は、観光客や学生、仕事にいられている方などを想定して、5万人分備蓄しており、緊急時には希望があれば配付します。 篠山市域の携帯電話に情報提供する緊急情報メールを活用して情報提供を行います。
安定ヨウ素剤を服用しても、日々体から抜けていくのであれば、数日後又は毎日でも服用しなくてはならないのではないのか。そうであれば、5万人分の安定ヨウ素剤は何日分備蓄しているのか。	安定ヨウ素剤の服用は、原子力規制委員会の定める指針で1回限りとなっています。5万人分は、1回（1日）分です。服用が必要になるときは、同時に避難が必要となると考えていただき、影響のない場所へ避難していただくか、自宅の建物内などに「屋内退避」をして、外出しないようにするのが、被ばくを防ぐには有効です。
チェックシートの内容はどのようなものか。	チェックシートは原子力発電所事故に備えて安定ヨウ素剤の事前配布を行う際に必要となります。事前配布の時期・方法については現在検討中で、具体的には決まっていません。チェックシートは事前配布に合わせて配布する予定です。

	<p>なお、原子力規制委員会や日本医師会により示されているチェックシートはインターネットで確認していただくことは可能です。</p> <p>参考に日本医師会より示されているチェックシートを添付します。</p>
<p>篠山市や近隣自治体が原子力事故の避難先に指定されていると聞いたことがある。どの地域が指定されどのような経緯でなっているのか教えてほしい。</p>	<p>福井県の原子力発電所の緊急時防護措置を準備する区域（UPZ）には福井県、京都府、滋賀県など広範囲の多くの方が居住されています。</p> <p>その方々の円滑な避難を実施するため、関西広域連合では、福井県の一部、滋賀県、京都府の約25万人を受け入れることとなっています。</p> <p>その関西広域連合の調整の中で、篠山市へは福井県若狭町の住民の約1,650人を市内の体育館などへ受け入れることとなっています。</p> <p>避難元の自治体は、複数個所の避難先を定めており、事故の状況（被害の方向）により避難先を決定し避難することとなるので、篠山市への被害が予想される場合は、別の避難先へ避難されることとなっています。</p>
<p>マスクでも被ばくを防げるとあったが、特別なマスクが必要か。</p>	<p>花粉症やインフルエンザ対策と同じ不織布のマスクで放射性物質を体内に取り込まないようにすれば被ばくを減らすことができます。</p> <p>合わせて、毛糸のセーターなどではなく、ナイロン製でホコリが付着しにくい衣服を着用し、家の外で払って家に入ってくださいことで被ばくを減らすことができます。</p>
<p>人の体調には変化があるものであり、副作用に対するチェックシートに有効期限はあるのか。</p> <p>安定ヨウ素剤の使用期限は何年か。保管の仕方はどうしたらよいのか。</p>	<p>安定ヨウ素剤の有効期限は3年間です。3年ごとに説明会を行い、チェックシートによるチェックを行う必要があります。</p> <p>安定ヨウ素剤は直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。また、温度が高い場所（夏の車中、火元の近くなど）に長期間放置することは避けてください。さらに、「薬箱のように用途が明確で覚えやすい場所に保管する」、「非常時に必ず持ち出す防災袋に他の災害時用品と一緒に入れる」といったくささないための工夫をしていただくことも有効です。</p>
<p>何年も経てから癌が発生したとして、それが被ばくによるものと断定できるのか。医学的根拠があるのか知りたい。</p>	<p>晩発性障害としての発がんは、一個体（各患者）だけではそれが原発の放射能によるものかは判断不可能です。</p> <p>アスベストによる中皮腫のように、発症時期、発症範囲、などから統計的に判断することになります。</p>
<p>原発に対する恐怖心ばかりを植え付けるのは良いように思わない。</p>	<p>今回の学習は、篠山市でも福島県での事故を受けて、学識経験者や市民の皆様と放射能の影響やその対策を検討してきたものであり、合わせて兵庫県が発表した放射性物質拡散シミュレーションの結果を受けて実施しているものです。</p> <p>各電力事業者は、基準に基づき事故が起こらないように対策を講じておられますが、万が一事故が起こった場合に市民の健康を守るための取り組みとして学習会を開催しておりますのでご理解をお願いします。</p>
<p>安定ヨウ素剤の代わりにイソジンを飲んでダメか。</p> <p>飲むとしたらどのくらいの量を飲んだらよいか。</p>	<p>うがい薬のイソジンや、消毒液、ヨードチンキなどはヨウ素が含まれていますが飲まないでください。ヨウ素以外の成分が多く含まれており体に有害な作用があるものも含まれています。</p>
<p>安定ヨウ素剤はわずかではあるが副作用の可能性があると いう事であるが、その副作用への対応策は考えられているのか。</p>	<p>事前配布を行う際にチェックシートで確認し、副作用のおそれのある方には、「副作用のある恐れがある」ことを記した用紙と共にヨウ素剤を配布し、服用については各自で判断していただきます。副作用が出た場合は各自で医療機関において受診してください。心配な方は服用を控えてください。</p>
<p>内部被爆を防ぐ対策として「防護」が挙げられているが、その中で「防護服」とはどの程度のものを指すのか。合羽や長袖程度でも防げるのか。</p>	<p>放射線を防ぐには、鉛などで遮蔽する必要があります。現在福島第一原発で作業員が着ている白い服は不織布製であり、「放射線」を防ぐ効果はありません。放射線を出す「放射性物質」が体に付着するのを防ぐためのものです。</p> <p>同様に合羽や長袖は放射性物質が体に付着するのを防ぐには有効な手段です。外出時には花粉症対策と同様に毛糸のセーターなどではなく、ナイロン製でホコリが付着しにくい衣服を着用し、家の外で払って家に入ってくださいことで、被ばくを減らすことができます。</p>
<p>原子力発電所の事故が起こった場合、どこが放射性物質の濃度を計測して誰がヨウ素剤の服用を指示するのか。</p>	<p>原子力発電所の事故が起こった場合は、国や県が設置したモニタリングポストなどで計測し情報提供することになります。</p> <p>モニタリングポストの情報は「原子力規制委員会」のホームページでも公開されており、だれでも閲覧可能です。服用の指示は、事故の状況や気象状況、放出された放射性物質の量などにより国から指示が出ることとなっています。</p>
<p>薬を多く服用している者も多いので、安定ヨウ素剤を配る際には配布方法に配慮してほしい（一目でわかるようにするな</p>	<p>現在、原子力発電所より5Km以内の住民に対し、事前配布が実施されています。そこでは、各自治体が工夫を凝らし、容器を準備して配布を行っています。篠山</p>

ど)。	市でもこのような事例を参考にし、混乱が生じないように検討したいと思いません。
安定ヨウ素剤の備蓄が5万人の1回分で2回目の備蓄がない。 2日目以降どうすればよいのか。	安定ヨウ素剤の服用は国の指針により1回限りとされています。安定ヨウ素剤の服用が必要となるような放射性物質が飛んできそうなときは、安定ヨウ素剤を服用して、同時にできるだけ遠方へ避難することが被ばくを避けるために有効な手段です。 遠方へ避難することが困難な場合は、外出を避け「屋内退避」をすることが有効となります。自宅等の建物の中で、外気を屋内に取り入れないように換気扇、エアコン等を使用せずに過ごしてください。
避難のシミュレーションはしているのか？交通渋滞等が起こりパニックになる可能性があるのではないかと。逃げる方法も検討して欲しい。	避難の際の交通渋滞のシミュレーションはしていません。質問のとおり、交通渋滞等が予測されます。 関西広域連合の「原子力災害に係る広域避難ガイドライン」では、事故が発生した場合、距離区分に応じて段階的に避難を行うように示されており、事故を起こした発電所から近い方から段階的に避難の指示が出されます。
高齢者や避難が困難な方への支援はどのようにされるのか。	高齢者や体の不自由な方などのへの支援は、その方の状況等により一概に決めるのは困難ですが、「ささやま見守り台帳」を活用して状況の把握に努めます。 日ごろから、各個人やご家族でどのように行動すればよいのかを考えておいていただくことが重要です。
安定ヨウ素剤を兵庫県内で服用した方はあるのか。	安定ヨウ素剤(ヨウ化カリウム丸)は甲状腺腫、慢性気管支炎、喘息等の治療に使用する薬であるので、治療目的に服用されている方はあるかもしれません。 内部被ばくの予防のために服用された方については、県内では、甲状腺の内部被ばくの予防・低減のためには配布されていないので、不明です。
篠山市内で放射線量を測定しているところはあるのか。	篠山市では、毎月1回、市役所本庁舎前で測定し篠山市ホームページで公開しています。日常の放射線量は、原子力規制委員会のホームページで公開されており閲覧が可能です。近隣では、兵庫県柏原総合庁舎で測定されています。
安定ヨウ素剤を兵庫県内で服用した方はあるのか。	安定ヨウ素剤(ヨウ化カリウム丸)は甲状腺腫、慢性気管支炎、喘息等の治療に使用する薬であるので、治療目的に服用されている方はあるかもしれません。 内部被ばくの予防のために服用された方については、県内では、甲状腺の内部被ばくの予防・低減のためには配布されていないので、不明です。
安定ヨウ素剤の保管方法について教えてもらいたい。	安定ヨウ素剤は直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。 また、温度が高い場所(夏の車中、火元の近くなど)に長期間放置することは避けてください。さらに、「薬箱のように用途が明確で覚えやすい場所に保管する」、「非常時に必ず持ち出す防災袋に他の災害時用品と一緒に入れる」といったくささないための工夫をしていただくことも有効です。
チェックシートや問診で安定ヨウ素剤を服用できない場合はどうするのか。	出来るだけ外出を控え、屋内で過ごす「屋内退避」をしていただいたり、外出の際はマスク(花粉用や通常の不織布マスクで可)を着用し、長袖を着て肌を露出しないようにして避難してください。
安定ヨウ素剤を備蓄されているが早急に配布してほしい。	篠山市では、現在事前配布にむけた検討を行っております。国の指針等も参考にしながら、配布方法や時期について検討し、決定しましたら、市民の皆様にお知らせします。
事故が発生した場合、各個人で避難すると車の渋滞が発生するのではないかと。市がバスを準備するなど団体で避難できるように考えてほしい。	避難の方法については、今後検討する必要がありますが、実際、緊急時にはバスの手配は困難であることが想定されるので、各自で避難していただくこととなります。 関西広域連合の「原子力災害に係る広域避難ガイドライン」では、事故が発生した場合、距離区分に応じて段階的に避難を行うように示されており、事故を起こした発電所から近い方から段階的に避難の指示が出されます。
万が一、原発で事故が発生したとき、一人暮らしの高齢者や携帯電話を持っていない人、防災無線が入らない人にどうやって広報するのか。	市からは防災行政無線、携帯電話等へのメールのほか広報車等で情報提供します。 自治会内での連絡網や有線放送等を活用していただき、情報提供のご協力をお願いします。
安定ヨウ素剤の事前配布について住民説明会等の準備から配布までのタイムスケジュールは決まっているのか。	事前配布のスケジュールや方法等については現在検討中です。具体的な方法や時期は決まりましたら、市民の皆様にお知らせします。
安定ヨウ素剤の効果は24時間でその間に避難するようになったが、その後はどうすればよいのか。	事故後の篠山市の放射線量により避難の期間などは変わってくると思われます。放射線量により対応が変わります。市外へ避難された方へは篠山市の情報は携帯電話等にメールを送る「デカンショ防災ネット」でお知らせします。

安定ヨウ素剤をもらっても失ってしまいそうだ。	現在、安定ヨウ素剤を原子力発電所から5 Km圏内の住民に対してすでに配布した自治体があります。 実際に事前配布を実施した自治体の事例を参考に、紛失や誤飲が生じないような容器の使用を検討します
幼児用のシロップは家で備蓄できないのか。	現在、長期保存が可能で幼児が飲める水薬は販売（製造）されておられません。したがって、粉剤を市役所等で調合したものを服用していただきます。これは、長期保存が出来ないので、各家庭に事前に配布することが出来ません。
安定ヨウ素剤は個人で購入できないのか。	安定ヨウ素剤（ヨウ化カリウム丸）は甲状腺腫、慢性気管支炎、喘息等の治療に使用する薬であるので、病気の治療を目的として医師の処方箋があれば購入することが出来る可能性はありますが取り扱っている医療機関は少数です。 また、放射線の内部被ばくの予防目的での処方箋は発行されないので、薬局等で予防目的で購入することはできません。
自治会の呼びかけでは学習会の参加者が限られているので、別の学習の場を設けるなど、普段学習会に来ない住民もこの内容を知る機会を設けてほしい。	
ヨウ素剤を飲んで、24 時間以内に逃げるという基本的なポイントを押さえ、避難の心構えができよ学習会であった。3 日分の食料備蓄など原発事故だけでなく、自然災害に対する備えも必要であることが学習できた。	
原発事故を想定して今日の学習会の内容を家内でも話題にしたい。	
神戸新聞等で報道されたとおり、原子力規制委員会が、高浜、大飯原発の再稼働について、「合格」としているが、「合格」＝「安全である」ということの根拠について、市は国の責任にするのではなく、市民に納得いくように説明する必要があるのではないか？	
そもそも人が制御できないものを作ったのが間違い。	
各家庭で避難先や方法を検討となっているが、市としてそれでよいの。浪江町などはすべて町で準備した。	
ヨウ素剤を飲めば安全という印象を受けるが、避難方法を学習したほうが良いのではないか。	
安定ヨウ素剤の費用負担は関西電力にしてもらえないのか。	
篠山市は被害に遭う立場であり、被災者を受け入れる立場でもあるため、地域全体で考える必要がある。	
風評被害が心配。観光と農業が主産業の篠山は成り立たなくなる。	
安定ヨウ素剤を事前に配布する計画だが、高齢者にとってはどこに保管しているか忘れる可能性があるので、実際に服用するタイミングで配布してほしい。	
市長は、反原発の意思を表明していることもあるため、篠山市として反対の立場を明確にして署名活動をしたほうが良いのではないか。	
市民への避難時の服装や防護の説明も必要なのではないか。	
命は助かっても、篠山の農業がダメになるのではないか。	
原子力の学習会をもっと行ってほしい。	